

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 河川の整備	② 施策番号	6302
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 河川・ため池の保全と活用		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
上下水道部	下水道整備課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	河川
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	施設の維持改修を行うとともに、河川の適正な管理を行うことで、河川施設をより良好な状態に保ち自然災害から市民の生命や財産を守る。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	ゲリラ豪雨等、今までにない大雨が増えている中で、河川施設の増強が望まれている。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)		単位	指標とした理由・考え方	
①	河川改修・修繕件数	件	河川改修・修繕を進めることで浸水被害の防止を図る。	
	計算式			
②				
	計算式			
③				
	計算式			

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
①	河川改修・修繕件数	件	目標値	6	5	5	5	5	
			実績値	6	4	2	—	—	
			達成率	100.0%	80.0%	40.0%			
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	河川管理事業	修繕件数	件	4	2	4	9,318	5,753	4,196	A	ア	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						9,318	5,753	4,196			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのよう貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	河川の整備とその適切な管理・運用を行うことで河川を保全し、浸水被害から市民が守る
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	毎年、数か所の改修に止まっている。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	河川の維持改修は行政の分担範囲。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	課所管においては、概ね適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	河川の適切な管理・運用によって河川を保全することから重点化。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	C	今までにない大雨やゲリラ豪雨が増えている中で、施設機能の増強、施設の老朽化対策が望まれるが、多額な費用がかかることから、優先順位の順位付け及び実施エリアのバランスの判断が課題である。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	老朽化が進む箇所の整備・改修を行う。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	地元要望を精査し、緊急性、優先順位を付け、整備・改修を行う。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	中長期的な施工計画の策定と実施。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	C	河川の適切な維持管理について老朽化対策における優先順位付けを進めるなど計画的保全による整備を進められたい。 増加する大雨やゲリラ豪雨については、その対応に向けた取組・展開について検討されたい。	